

緑の基本計画改定に向けて、いただいた意見の要旨

N=191件

区分	小区分	意見概要
20件	緑の現状 3件	仙台は緑が少ない。
		「杜の都」と評価される割には、市街地中心部の緑が少ない。
		青葉通のケヤキ伐採等、緑が少なくなっている。
	行政 3件	仙台市の組織を自然（緑）という視点で一本化することが第一のステップである。
		施設整備よりも運営・管理にお金をかけられる仕組みづくりを模索してほしい。
		計画に関する市民への詳細な情報提供により、計画への関心が高まるのではないかと。
	計画全般 8件	緑の基本計画と百年の杜づくり行動計画の位置付けを明確化するべきである。
		改定計画のテーマは健康都市。
		「百年の杜づくり」の次のステップとして市民が杜との共生に参画できる「生活景としての百年の杜づくり」。
		100年後の仙台の姿の基本計画の作成が必要ではないか。
		百年先の豊かな環境を想定した計画を策定してほしい。
		仙台の風土を踏まえた個性ある計画を策定することが望ましい。
		集客効果や経済効果を狙ったオリジナリティのある計画の策定が必要ではないか。
	計画目標 6件	緑を理解する人材を育成する緑の基本計画を策定してほしい。
		現計画の達成度を明示してほしい。
		達成目標や年次毎の評価等による計画の進行管理が必要である。
地域性を考慮した区ごとの重点指標を設定してはどうか。		
緑による二酸化炭素の吸収・固定の定量的把握が必要ではないか。		
計画目標として、「子どもが自然の中で遊ぶ経験」などの質的指標の設定してほしい。		
基本的な方向の「誰もが安心して利用できる緑空間の確保」について、日常の環境整備の視点は災害対応と分離すべきではないか。		
32件	生物多様性 2件	外来種からの生物多様性の保全について考えたい。
		生物多様性の保全に十分配慮した水環境の保全について取り組むべきである。
	保全の方針 10件	緑の喪失を防ぎ、緑を増やす方向性を応援します。(2件)
		現状を維持する緑の保全はできないのか。
		緑について考えて守っていくことが大切だと思っています。
		基本的な方向に「次世代を育む自然環境の創出」を設定することを提案する。
		保存緑地の保全協力援助金の交付のあり方について見直す必要がある。
		まとまりのある緑を保全する条例の制定が必要ではないか。
		簡易な地域制緑地の指定や土地の寄付制度等の仕組みが必要ではないか。
	市街地の街路樹の「緑の回廊」に加えて、自然緑地、森林における「緑の回廊」づくりの計画が必要である。	
	河川等の保全 3件	国見丘陵にかかる緑地の保全を明確化してほしい。
		七北田川等の水辺の自然環境の見直す。
		広瀬川の自然的環境の保全を明確に表記してほしい。
	農地の保全 4件	将監沼南側の調整池を改善してほしい。
		農地、仙台らしい農村風景の保全が必要である。
		民有地の緑の保全、居久根と周辺農地の保全のための戦略と戦術のある計画策定が望まれる。
樹林地の保全 10件	屋敷林の税制優遇と地域による保全が必要ではないか。	
	仙台の地域性を示す居久根の保全が必要である。	
	貝ヶ森3号緑地の管理手法に問題がある。	
	貝ヶ森6丁目の樹林地を保全してほしい。(3件)	
	斜面緑地の保全し、大泉山保存緑地を拡充してほしい。	
	大年寺山の緑地を保全すべきである。	
	堂庭山の保全と墓苑分譲の関係について明らかにしてほしい。	
北山の社寺林の保全策を検討すべきである。		
公園緑地での保全 3件	瞑想の松を活かした環境整備が必要である。	
	森林病害虫被害木を適正に処理してほしい。	
	広瀬川や西公園等の自然環境を大切にしたい。	
人手を入れすぎず、現状の自然を大切にする公園整備をしてほしい。		
自然環境に配慮した公園管理をしてほしい。		

緑の基本計画改定に向けて、いただいた意見の要旨

区分	小区分	意見概要
II 緑により都市環境を再生します	公園整備 8件	ポニーがいる公園を整備してほしい。
		緑あふれる公園を整備してほしい。
		緑を楽しむ道（フットパス）の整備してはどうか。
		健康志向など対応した緑の質の向上を図るべきである。
		海岸のサービス施設の整備が必要ではないか。
		広瀬川や青葉山の公園整備をしてはどうか。
		西公園の旧市民図書館建物の利活用すべきである。
		仙台港背後地に緑の回廊帯を形成してはどうか。
	公園管理 6件	行政主導による公園の管理が必要である。
		予算を含めた管理業務の見直しが必要である。
		公園樹・街路樹について適切な維持管理と適切な樹種の選定が必要である。
		公園の除草をしてほしい。
		街区公園の樹木や雑草の管理による防犯性を向上してほしい。
		公園の防犯対策として樹木の伐採ではなく、来園者を増やす取組をすべきである。
	公園利用 17件	プレーパークのような公園の計画的配置が必要である。(7件)
		子どもにとって安全で、安心なプレーパークのような居場所をもっと普及してほしい。(2件)
		子どもや大人が自然と自由にふれあえるプレーパークのような公園を普及してほしい。(5件)
		心休まる遊び場、子どもの育ち・子育ての基盤となる、自然を通じて発展性のある提案を身につけられるプレーパークのような場所を普及してはどうか。(2件)
		西公園の再整備の際にプレーパークを設置してほしい。
	緑化の方針・計画 7件	シンボルとなる緑の創出を願う。
		市街地中心部の緑化の具体策を示してほしい。
		仙台駅東の緑のネットワークの形成が必要である。
		自然植生や不要木を活用した緑化を推進してはどうか。
		将来を見越した植栽計画の策定が必要である。
		どんぐりを中心とした緑化の取組をしてはどうか。
		愛情や畏敬の念を持った、樹木の管理をしてほしい。
公共施設緑化 5件	緑を大切にしようとする心を育むために、学校、保育園、幼稚園等の身近な場所での緑を確保できるとよい。	
	学校敷地内の緑化率を向上してはどうか。	
	校庭・園庭の芝生化はどうか。	
	学校の森づくりの見直ししてはどうか。	
72件	街路樹 17件	職員や町内会による公共緑地の管理を実施してはどうか。
		長期的な視野を持った街路樹の整備と維持管理をすべきである。
		広い歩道へ植栽してはどうか。
		街路樹としてのケヤキの樹種の選定や管理について検討すべきである。(2件)
		街路樹の配置と樹種選定に配慮すべきである。
		街路樹の樹種の選定方法について検討が必要である。(3件)
		生物多様性の保全に配慮した樹種の選定が必要である。
		街路樹の更新が必要である。(2件)
		青葉通を再整備してはどうか。
		青葉通のケヤキ街路樹の樹種転換をすべきである。
	地下鉄工事によるケヤキの伐採は残念である。	
街路樹の落ち葉対策に関する協働の取組をしてはどうか。		
光のページェントの実施によるケヤキへのダメージについての再検討が必要である。		
花壇 2件	駅から病院までの歩道に花壇を設置してはどうか。	
	歩道の植え込みの花壇化する活動を広げてほしい。	
建築物緑化 8件	壁面及び屋上緑化の現状について教えてほしい。	
	壁面緑化の条例化してはどうか。	
	屋上・壁面緑化を廃止すべきである。	
	建築物の敷地内緑化を強化すべきである。(3件)	
	公共施設、民間施設における緑化助成の充実してはどうか。	
榴岡天満宮付近の緑化が必要である。		
空宅地 2件	空宅地を公園化してはどうか。	
	空宅地の緑化の検討を進めてほしい。	

緑の基本計画改定に向けて、いただいた意見の要旨

区分	小区分	意見概要
Ⅲ市民や事業者の主体的な緑のまちづくりを応援します 61件	協働 18件	行政と市民の役割の明確化してほしい。
		地域住民や市民との協働の推進してはどうか。
		公園緑地協会との連携した活動が必要ではないか。
		パークアダプトシステムを導入してはどうか。
		登録による気軽なボランティア参加制度等の仕組みを作ってはどうか。
		健康増進や趣味等としての里山整備をする仕掛けを考えてはどうか。
		公園緑地の維持管理に対する寄付の受け入れ制度を創設してほしい。
		市民活動団体への長期的な助成制度が必要である。
		長期的な人材育成の取り組みをしてほしい。
		地域住民・市民団体・企業との協働による緑の整備や維持管理を促進してはどうか。
		市民協働による街路樹管理をしてはどうか。(2件)
		市民協働による公園管理をしてはどうか。
		市民協働による緑化の推進をしてはどうか。
		西公園社の応援団事業として、今後も公園の管理に関わりたい。
	普及啓発 9件	緑を使ったコミュニティの形成や再生を位置付けてほしい。
		ケヤキ並木と市内アーティストのコラボによる普及啓発をしてはどうか。
		ケヤキ並木の歴史の紹介による普及啓発をしてはどうか。
		緑の大切さについての普及啓発と市民協働を進めてほしい。
		緑を保全するための開発者や市民の意識改革が必要である。
		市民の樹木に対する意識改革が必要ではないか。
		都市公園、風致地区等により杜の都が守られていることの啓蒙に力を入れてほしい。
		助成木等の樹木植栽までのアドバイスをした方が良い。
	緑の相談所のアピールが必要である。	
	子どもと緑の関わり 24件	緑の役割に子どもの育ち・子育てを支える基盤の追加してほしい。(6件)
		全ての緑に「子どもが遊ぶ」という視点の導入が必要ではないか。
		公園その他の場所における屋外の子どもの遊び場を充実してほしい。
		「緑に対する意識の啓発」に、子どもが「緑」の中で遊ぶ取り組みを位置付けてほしい。
		「緑の役割」に「子どもの日常の遊び場・居場所」を位置付けてほしい。(3件)
「緑を守り育てていく」手段として、子どもが自然の中で遊ぶ経験を位置付けてほしい。		
緑の課題に「子どもが日常の中で緑・生物と親しむ機会が失われている。」を追加してほしい。		
子どもが日常の遊びや体験活動の中で緑・生物と親しむ環境を確保してほしい。(2件)		
子ども達が広瀬川で川遊びする体験を普及してほしい。		
子ども達や子育て世代が自然とふれあう機会を充実してほしい。(4件)		
基本的な方向性に子どもと一緒に緑を育てる視点を追加してほしい。		
子ども達への緑の大切さを普及啓発してほしい。		
自然体験を通じた子どもの教育、緑を大切に作る心の醸成をしてほしい。		
体験活動 4件	緑を大切に作るイベントの開催が必要ではないか。	
	公園における草花や木とのふれあい体験を充実してほしい。	
	植林活動による啓蒙普及活動を実施してはどうか。	
	まちなか農園のような市民の手が加えられる公園や公共空間の創出、仕組みづくりを望みます。	
調査・リサイクル 4件	「緑の調査研究」として子ども時代の遊びの経験と自然を大切に作る意識の関係の調査の実施が必要である。	
	公園の落ち葉を堆肥化して利用してはどうか。	
	緑のリサイクル(堆肥化・コンポスト化、木質バイオマス)を実施してはどうか。	
基金 2件	公共施設の内装木質化の推進が必要である。	
	百年の杜推進基金のあり方の検討が必要である。	
緑以外の施策 6件	百年の杜推進基金への寄付について企業に協力依頼をしてはどうか。	
	市街化調整区域の指定と地域の活性化のバランスに配慮する必要がある。	
	環境への負荷が小さい交通政策を進めていきたい。	
	中心部への車乗り入れ規制等が必要である。	
	歩き煙草やごみの投棄を全面禁止してほしい。	
	高森陥没事故について、市費を支出するべきではない。	
水族館移転を進めるべきではない。		